

北九州高速鉄道株式会社

北九州高速鉄道株式会社

I 法人の概要（令和7年4月1日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区企救丘二丁目13番1号

2 設立年月日

昭和51年7月31日

3 代表者

代表取締役社長 上田 浩（令和6年6月28日就任）

4 資本金

100,000千円

5 資本金のうち、北九州市の出資金

100,000千円（出資の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6人	0人	3人	3人
常 勤	2人	0人	2人	0人
非常勤	4人	0人	1人	3人
職 員	133人	0人	0人	133人

7 団体のミッション

北九州モノレールの大量輸送性、定時性、速達性といった優れた特性を活かし、公共交通ネットワークの軸として、安全・正確・快適な運行を維持するとともに、他の交通事業者と連携・分担しながら、市民に対して利便性の高い移動手段を提供する。また、更なる収益力の確保等により、安定的な経営基盤の強化を図る。

II 令和6年度事業実績

当期の輸送人員は、8月に発生した台風に伴う運休の影響はあったものの、お客さまサービスの向上など中期経営計画の重点施策を着実に取り組んできた成果が表れたことに加え、社会・経済活動の正常化が進んだことにより開業以来過去最高を記録した。

営業収益は、輸送人員の増に伴い運輸収入が増加したことに加え、小倉駅のコインロッカー増設による使用料収入の増加や小倉駅のサイネージ広告「9面マルチビジョン」の運営を北九州市から受託したこと等に伴う広告料収入の増加により前期を上回った。

一方、営業費は、人件費の高騰や電力ケーブル張替数量増等による維持修繕費の増加に加え、新技術導入に向けたコンサルティング業務の外部委託費等を執行したことにより前期を上回った。

この結果、国から設備の維持・修繕に係る補助金が交付されたこともあり、前期よりも利益率は減少したものの、当期純損益は利益を計上することができた。

Ⅲ 令和6年度決算

1 貸借対照表

令和7年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	6,974,958,006	(負債の部)	2,292,724,697
流動資産	3,864,728,984	流動負債	938,950,544
現金及び預金	3,402,356,051	1年以内返済予定の長期借入金	76,000,000
未収運賃	57,666,150	リース負債	155,313,673
未収金	147,837,329	未払金	503,235,754
貯蔵品	229,125,010	未払費用	7,884,413
前払費用	559,592	未払法人税等	4,932,000
仮払金	9,123,400	預り金	3,000,922
未収還付消費税等	17,731,000	前受運賃	105,183,934
未収還付法人税等	330,452	前受収益	31,908,978
		賞与引当金	51,490,870
固定資産	3,110,229,022	固定負債	1,353,774,153
軌道事業固定資産	2,328,763,087	長期借入金	616,000,000
有形固定資産	2,327,256,781	リース負債	157,270,453
無形固定資産	1,506,306	退職給付引当金	575,794,700
建設仮勘定	781,399,125	預り敷金	1,859,000
投資その他の資産	66,810	預り保証金	2,850,000
その他	66,810		
		(純資産の部)	4,682,233,309
		資本金	100,000,000
		資本剰余金	9,771,521,775
		資本準備金	6,871,521,775
		その他資本剰余金	2,900,000,000
		利益剰余金	▲5,189,288,466
		その他利益剰余金	▲5,189,288,466
		繰越利益剰余金	▲5,189,288,466
資産合計	6,974,958,006	負債及び純資産合計	6,974,958,006

2 損益計算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日 (単位:円)

科 目	決 算 額	
経常損益の部		
(営業損益の部)		
軌道事業		
営業収益		
旅客運輸収入	2,113,204,291	
運輸雑収	467,228,114	2,580,432,405
営業費	2,159,296,684	2,159,926,684
軌道事業営業利益		420,505,721
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息	2,157,729	
雑収入	39,611,040	41,768,769
営業外費用		
支払利息	5,377,438	5,377,438
経常利益		456,897,052
特別損益の部		
特別利益		
補助金収入	56,649,098	56,649,098
特別損失		
固定資産除却損	62,842	62,842
税引前当期純利益		513,483,308
法人税、住民税及び事業税	4,932,000	
法人税等調整額	▲59,213,000	64,145,000
当期純利益		449,338,308

IV 令和7年度事業計画

《令和7年度の事業計画概要》

今後予定している設備更新については多額の資金が必要なことから、その財源確保に加え、更新費用の低廉化やランニングコストの低減に向けた設備のスリム化が必要となる。

加えて人財の確保についても、全国的な人手不足や人財獲得競争の激化等に迅速かつ柔軟に対応できる環境整備が急務と捉え、「計画的な採用」「将来に向けた人財育成」「正社員定年後の継続雇用率アップ」などに取り組む。

次期2025年度からは、新たな中期5ヶ年計画（2025-2029）を実行していくが、これらの課題解決に向け計画に掲げる重点施策に着実に取り組むとともに、お客さまの安全、正確、快適、利便性の向上を図り、企業としての発展に努める。

《重点的な取り組み》

重点施策	取り組み内容
輸送の安全と定時 運行の確保	自責による5分以上の遅延ゼロ ・関係機関と連携した異常時に対応する「総合訓練」の実施 ・災害時対応の着実な実施（台風時・積雪時）
お客さま満足度向上	C S 調査満足度の向上 ・情報発信の強化（きめ細やかな運行情報の提供・英語表記など） ・接客力向上のための研修の実施
輸送人員増と収益力 強化	営業収益確保 ・利用促進策の推進（沿線店舗・施設との連携、「ちょこっとモノ旅」リニューアル） ・運賃改定に向けた関係機関との協議実施
設備更新計画の推進	設備更新の確実な実行 ・新技術の導入（CBTC（無線式列車制御システム）、変電所バッテリーポスト化） ・車両更新計画の詳細検討
人材の確保と育成	安定した人財確保と技術継承 ・将来を見据えた採用活動（目標2名、新卒採用、即戦力人財の中途採用） ・積極的な乗務員養成（目標2名、運転士免許取得）

V 令和7年度予算

予定損益計算書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日 (単位：千円)

科 目	予 算	額
経常損益の部		
(営業損益の部)		
軌道事業		
営業収益		
旅客運輸収入	2,083,736	
運輸雑収	498,418	2,582,154
営業費	2,260,103	2,260,103
軌道事業営業利益		322,051
(営業外損益の部)		
営業外収益	43,092	43,092
営業外費用	3,610	3,610
経常利益		361,533
特別損益の部		
特別利益		
補助金収入	84,780	84,780
特別損失		
固定資産除却損	361	361
税引前当期純利益		445,952
法人税、住民税及び事業税	5,000	5,000
当期純利益		440,952

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和7年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	上田 浩	
取締役	小野 勝也	北九州市都市戦略局長〔兼任〕
〃	東 義浩	(株)北九州輸入促進センター常勤監査役〔兼任〕
常勤監査役	近藤 晃	
監査役	大迫 道広	北九州市都市戦略局総務政策部長〔兼任〕
〃	大石 聡一郎	(株)福岡銀行常務執行役員北九州代表兼本部長〔兼任〕

2 市との特命随意契約の状況（令和6年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち政策連携団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
北九州市モノ ール小倉線軌道 敷等維持修繕 業務	246,156	当該業務は軌道敷そのものを扱う維持補修等工事であり、国の指導（軌道経営者が維持修繕を行う）により維持修繕は軌道経営者である同社が行うこととなっている。（また、事故等発生時の迅速な対応などの面からも同社が行うことが適当であり、さらに同社所有の工作車を使用することで経費削減につながる。）	昇降設備保守点検・修繕	90,987	日立ビルシステム、三菱電機ビルソリューションズ、東芝エレベータ、クワイト、ダイコ、日本ホチス・エレベータ、三精テクノロジー	随意契約 (特命)	昇降設備は、メーカーの設計、施工であり、メーカー独自の機器特性等に対応できないなければならない。また、メーカーであれば下記に示す事項を充足している。 ①部品調達をメーカー自身が行うため、迅速、確実かつ安価 ②各メーカーの機器構造への最精通者は各メーカー技術者 ③メーカー独自の詳細図面を整理、所有 ④異常、緊急時の連絡体制の確立 ⑤責任所在の明確化
			エレベータ監視システム保守点検	660	セイコー電子	随意契約 (見積合わせ)	過去2カ年における指名競争入札で、技術者の配置困難や、鉄道独自の技術的対応が困難等の理由により、請負業者以外の全業者が辞退したため。
			平和通1号エレベータ監視カメラ取替修繕	483			
			電気設備（信号設備 A-1・信号設備 A-2）保守点検	18,414	親和電設工業	随意契約 (特命)	
			分岐器ヒーター撤去及び爪なし FP 取替業務	501			
			分岐器ヒーター撤去及び爪なし FP 取替業務(2)	376			
			分岐器アトフライヤー取替業務	121			
			分岐器設備取替業務	2,657			
			本線分岐器ソースヒーター取替業務	330			
			分岐器機器重要部取替分解修繕業務（企救丘21号分岐器）に伴う補助作業	293			
分岐器空圧制御機器取替業務	444						

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち政策連携団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			分岐器機器重要部取替分解修繕業務(企救丘21号分岐器)	22,050	日立製作所	随意契約(特命)	分岐器機器は日立製作所の設計、施工であるため、その基本的な性能に係わる部分の改良等の機器特性等に対応できるのは日立製作所しかない。また夜間の施工は、迅速性かつ正確性が求められるため新規業者の施工では施工箇所の不具合発生時の対応が迅速にできない。
			分岐器設備分解修繕工事	1,855	JR九州エンジニアリング	随意契約(特命)	過去2カ年における指名競争入札で、技術者の配置困難や、鉄道独自の技術的対応が困難等の理由により、請負業者以外の全業者が辞退したため。
			ガイドシンター分解修繕工事	154		随意契約(見積合わせ)	
			分岐器アトマイザー撤去	46		随意契約(見積合わせ)	
			駅舎雨漏りに伴う天井点検口取付工事	187	アサヒ建設工業	随意契約(見積合わせ)	
			電気室雨漏りに伴う外装板修繕工事	259			
			ホーム先端部モルタルその他撤去工事	1,287			
			連絡通路雨漏り補修工事	99	西部産業	随意契約(見積合わせ)	
			連絡通路雨漏り補修その2工事	198			
			ホーム下シール打替工事	187			
			軌道床防水補修工事	1,650			
			都市モノレール小倉線軌道検測業務	18,150	かんこう	随意契約(特命)	軌道検測に精通し、国内で唯一の機械自動計測が可能な業者であるため。
			令和6年度都市モノレール小倉線PC軌道桁健全度評価業務	2,156	上晴	随意契約(特命)	PC桁の特性やASR状況の見識も十分で問題点にも精通しているため。
			ホームスロープ点検工事	86	吉元工務店	随意契約(見積合わせ)	
			モノレール平和通駅EV前ガラス	99	岡崎建工	随意契約(見積合わせ)	
			企救丘23号分岐階段塗装工事	1,518	ユービック	随意契約(見積合わせ)	
			上り連絡通路腰壁補修工事	176	住栄ホーム	随意契約(見積合わせ)	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち政策連携団体からの再委託の状況					
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由	
			エスカレーター EJ 補修 工事	297	後藤金属 商会	随意契約 (見積合わせ)	/	
			扉補修工事	198				
			モルレル小倉駅風 防ガラス等特別清 掃	836	JR 九州サ ビスポ ート	随意契約 (見積合わせ)		
			ホーム屋根雨樋詰 まり対策工事	1,045	ケーワ	随意契約 (見積合わせ)		
			連絡通路天井補 修工事	116	若佐建設	随意契約 (見積合わせ)		
			昇降機ビ ット排水 委託業務	336	角田油業	随意契約 (見積合わせ)		
北九州モルレル長 寿命化計画に 基づく工事の 実施に係る監 督管理の一部 及びこれに付 帯する業務の 委託等	54,953	関係法令に基づき 必要な業務を委託 するもの ・地方自治法施行 令第167条の2 第1項第2号に該 当。 ・軌道法・同運転規 則第7条の2第1項	キ ャモーター更新業 務(企救丘21号 分岐器)	4,125	日立製 作 所	随意契約 (特命)	分岐器機器は日立製作所 の設計、施工であるため、 その基本的な性能に係わ る部分の改良などの機器 特性等に対応できるのは 日立製作所しかない。ま た夜間の施工は、迅速性 かつ正確性が求められる ため、新規業者の施工で は施工箇所の不具合発生 時の対応が迅速にできな い。	
			キ ャモーター更新材 料及びロックシリン ダ ー取替材料購入	29,700				
			キ ャモーター更新に 伴う付帯及びロッ クシリン ダ ー取替業 務	1,311	親和電設 工業	随意契約 (特命)		分岐器設備の保守業者と 本工事の施工業者が異な ると、不具合が生じた場 合に責任区分が不明確と なり、復旧や原因究明に 時間がかかるため、分岐 器設備の保守業者であ り、過去に同工事の施工 実績を有する業者である ため。
			桁嵩上げに伴う ATC/TD ループ線レ ベル測定	465	福岡日信 電子	随意契約 (特命)		ATC/TD装置は日本信号が 設計したものであり、詳 細知識は同社以外に持ち 合わせておらず、関係会 社(日本信号100%出資) である福岡日信電子にし か情報公開していないた め。
			電車線偏位調整 工事5-6	770	日本電設 工業	随意契約 (見積合わせ)		/
電車線偏位調整 工事5-7	770							

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち政策連携団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
9面マルチ液晶ビジョン運用・保守管理業務	2,445	・9面マルチビジョンの運用保守システムがモノレール小倉駅内に設置されており、北九州高速鉄道(株)が設置するストリートサイネージと連動した広告掲出も含め、他に実施できるものがないため。					再委託なし
小倉駅サイネージ広告掲出業務 (ストリートビジョン)	132	・お盆のU・Iターン企業交流会&おしごと相談会の開催にあたり、JR小倉駅から会場への動線上におけるサイネージ広告を条件としており、他に実施できるものがないため。					再委託なし
小倉駅サイネージ広告掲出業務 (センタービジョン)	176	・お正月のU・Iターン企業交流会&おしごと相談会の開催にあたり、JR小倉駅から会場への動線上におけるサイネージ広告を条件としており、他に実施できるものがないため。					再委託なし
合 計	303,862		合 計	205,392			